



小・中学部の進路学習について

各学年のまとめの時期に入りました。この時期は学年の振り返りをするとともに、来年度身に付けたい力や、将来に向けてどんな力が必要か、そのためには何をしたら良いか考える良い機会だと思います。今回は、小・中学部で取り組んでいる、働く力や生活する力を育てるための学習について紹介します。各ご家庭で子ども達の進路について考える参考にしていただければ幸いです。

小学部



小学部では「働く力」の素地を育てることを目指し、一人一人の発達段階に合わせた課題に取り組んでいます。元気な挨拶や返事をする、着替えや食事、清掃等一人でできることを増やすこと、決まりを守ること、友達と一緒に活動すること、物事に最後まで取り組むことなどが働く力の素地となります。また係活動や当番活動、委員会活動を通して、みんなのために働くという経験を大切にしています。委員会活動では、自分から活動に取り組んだり、最後まで時間いっぱい取り組んだり、友達と一緒に協力したりする場面が増えました。学校の一員として役割を果たし達成感を得たり、認められる喜びを感じたりすることが、自信や他者と関わる意欲となります。将来の生きる力につながるよう意識して指導をしています。



配達委員会

～トイレトペーパーの補充～



給食委員会

～布巾たたみ～



お掃除委員会

～靴棚の掃除～

中学部



中学部では小学部で身に付けた「働く力」の素地を基に働く意欲を培い、職業生活や社会参加についての基礎的な知識・技能を育てる「作業学習」を行っています。水曜日と金曜日の計4時間、「リサイクル班」「陶芸班」「手工芸班」の3つの班で、作業製品作りやリサイクル活動を行ってきました。更に、年2回作業学習週間を設け、6月には5日間、11月には9日間、一日を通して作業学習に取り組みました。生徒達は、やるべきことが分かり、最後までやり遂げる力、仕上がりを意識して丁寧に作業する力などに加えて、挨拶や言葉遣い、報告の仕方などの態度面も育てています。



【 陶芸班：皿作り 】 【リサイクル班：進捗の報告】 【手工芸班：クラフトコースター作り】

また、生活単元学習でも卒業後の生活を見据えた単元に取り組んでいます。「いーなべっこパーティーをしよう」という単元では、学校の畑で野菜を育て、草むしりや畑の手入れなどを行い、生長の過程を観察しました。収穫の時期を迎えるまで草取りや水やりなど、友達と協力して取り組み、汗を流して作業をする経験を重ね、野菜を収穫する喜びを味わいました。その後、収穫した芋のこと長ねぎで“芋のこ汁”を作り、「いーなべっこパーティー」を行いました。野菜の皮むきや包丁を使うこと、またガスを使った調理など、初めてのことに果敢にチャレンジしていました。畑作業や調理などの実践を通して、自分でできることは自分でやろうとする姿が多く見られるようになりました。



卒業式まであと 35日、
修了式まであと 45日、となりました。
今年度のまとめの学習や次年度に向けて
の学習もがんばっています！